

《ヤナギ属 葉での検索表》

A矮小低木で匍匐する 芽鱗は片側で離生することなく帽子状《ヤナギ亜属》(別亜属のマルバヤナギを除く)

B高山帯生

C葉柄は1-3mm 葉は6-13mm、巾3-10mm 広葉(マメヤナギ節=エゾマメヤナギ節)

(SGOH,道,大雪山)(矮小低木;葉12広)【09エゾマメヤナギ】

葉は倒卵-倒卵楕円形;円鈍頭、鈍-円脚;裏淡緑、無毛か中肋長毛散;表無毛;革質;ほぼ全縁

若葉裏に長軟毛

小枝に細毛あり、後無毛

変品種:【09キヌゲエゾマメヤナギ f =ケエゾマメヤナギ;(SOH)子房は絹毛で被われる】09マルバエゾマメヤナギ f;(SH)成葉は円形、円頭-微凹頭、円-浅心脚【09ナガバエゾマメヤナギ f;(SH)成葉は長楕円-倒被針楕円形、鋭鈍頭、鋭脚】

C葉柄は4-7mm(G2.5-4mm) 葉は18-30mm、巾6-19mm 広葉(ミヤマヤチヤナギ節)

(SGOH,道,湿原)(矮小低木;葉23広)【24ミヤマヤチヤナギ】

葉は狭倒卵-広倒卵形;円頭、広V脚;裏淡粉白帯る;両面無毛;表深緑、強い光沢;洋紙質;全縁;凹脈裏凸

托葉なし

若葉は無毛

若枝僅かに微毛、前年枝無毛

C葉柄は10-30mm 葉は20-70mm、巾15-45mm 矮小低木;広葉(タカネヤナギ節=レンゲイワヤナギ節)

D葉は長楕円-広楕円-倒卵楕円形;鋭-円頭;40-70(85)mm、巾20-40mm

;葉は両面無毛-裏中肋に長毛残;表緑、裏粉白;洋紙質;全縁か疎らに波鈍鋸歯;網脈裏凸

(SGOHY,本中部山岳,乾地)(矮小低木;葉223広)【25タカネイワヤナギ=レンゲイワヤナギ】

葉柄15-30mm

托葉未発達 丈10cm程

若葉の両面に白長毛、後無毛

小枝は多少絹毛あるが、すぐ無毛

(Y;エゾノタカネヤナギは葉が円形に近く、厚く表面に艶がある)(H;ハイマツ帯より下には見ない)

変品種:【25ケタカネヤナギ f;(SOH)子房に密毛あり】25ホソバタカネヤナギ f;(SOH)成葉が極端に巾狭い】

D葉は円-広楕円形;円鈍頭、円-心脚;(15)20-55(60)mm、巾15-45mm

;両面無毛;表深緑光沢、裏粉白;やや革質;全縁か低鋸歯疎;網脈裏凸

(SGOHY,道,砂礫地)(矮小低木;葉12広)【26エゾノタカネヤナギ】

葉柄(10)15-30mm(G7-28)

托葉なし

若枝は無毛

若葉両面に白長毛密、後すぐ無毛

(H;タカネイワヤナギに極近いが、一般に強壯で半分地中にある幹の直径が3cmに達するものも珍しくない;葉も革質で厚く、巾が広くて円形に近いものが多い、苞も大きく子房の柄が短く腺体の約半長くらいである)

変品種:【ホソマルバヤナギ f;(SGO)成葉は長楕円形で狭い】オオマルバヤナギ f;(SGO)成葉は大きく90-100mm位【26イヌマルバヤナギ v;(SGOH)成葉は艶強く脈は極凹入する 子房は多毛】

D葉は卵形-楕円形;円頭-微凹頭、円-心脚;20-40mm、巾15-35mm

;両面無毛;表緑、裏帯白-粉白;不明波状鋸歯かやや全縁;網脈は極裏凸;やや革質

(SOH,道,岩地)(矮小低木;葉1広)【27ヒダカミネヤナギ】

葉柄10-25mm

小枝は絹毛あり、後無毛

(H;エゾノタカネヤナギに似ているが、葉脈が著しく陥没し、裏に著しく隆起するので異なるとされている)

(H;エゾノタカネヤナギの風衝地における生態型かも知れない;今後の詳細な研究に期待したい)